様式第１７（第４２条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定更新申請書  申請年月日　2025年11月18日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）かぶしきがいしゃあーばんらいく  一般事業主の氏名又は名称 株式会社アーバンライク  （ふりがな）よしの　さとる  （法人の場合）代表者の氏名 吉野　悟  住所　〒864-0002  熊本県 荒尾市 万田１５９７番地２  法人番号　4330001017444  　情報処理の促進に関する法律第２９条第１項に基づき、情報処理の促進に関する法律施行規則第４１条（①第１号、②第２号）に掲げる基準による認定の更新を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　DXビジョンとその取り組み | | 公表日 | ①　2021年 9月 7日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①　コーポレートサイト  　https://www.urban-like.co.jp/news/2021/09/07/dx%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%a8%e3%81%9d%e3%81%ae%e5%8f%96%e3%82%8a%e7%b5%84%e3%81%bf/  　■URBAN LiKE VISION 2025 | | 記載内容抜粋 | ①　（１）従業員一人一人が働きがいを持ち、より高い生産性を発揮できるよう、事業のデジタル化を通じて業務の効率化を実現します。  （２）デジタル技術を活用し、お客様がより豊かな顧客体験を享受できるサービスを提供します。  （３）新しいプラットフォームを構築することにより、今までにない新しい価値を社会に提供します。    既存事業においてはSaaSなどのデジタル技術を随所に導入することにより、従業員一人当たりの業務効率を向上させるとともに、お客様がよりシームレスに当社のサービスを受けることができる環境を整えます。  また、新規事業としてプラットフォームを開発し、新たな収益の柱とします。 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | ①　2021年8月17日開催の取締役会にて承認。 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　DXビジョンとその取り組み | | 公表日 | ①　2021年 9月 7日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①　コーポレートサイト  　https://www.urban-like.co.jp/news/2021/09/07/dx%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%a8%e3%81%9d%e3%81%ae%e5%8f%96%e3%82%8a%e7%b5%84%e3%81%bf/  　ビジョン実現に向けた方策 | | 記載内容抜粋 | ①　【顧客体験】  従来の顧客管理システムを改善し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるような社内システムを構築します。また、公的・第三者データとの連携や、デジタルにおける顧客接点の創出などを通じて、お客様に新しい価値を提供します。  【プラットフォーム】  「不動産・建設業界」「課題を持つ事業者」「当社」の3社を結ぶプラットフォームを構築し、社会的課題を解決するとともに、当社の新しい収益の柱とします。2022年度にはサービスをリリースし、取得データをもとに改善サイクルを回すことで、従業員生産性とweb集客力の向上を図ります。  【デジタル技術を用いたデータ活用】  ・SaaSなどのデジタル技術を活用した業務の効率化  ・クラウドサービスを活用したプラットフォームの構築 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | ①　2021年8月17日開催の取締役会にて承認。 |   　　① 戦略を効果的に進めるための体制の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | ①　DXビジョンとその取り組み  　体制・環境 | | 記載内容抜粋 | ①　代表直下にDXを推進する部署を設置し、デジタルに関する調査・研究を実施するとともに、業務へのデジタルツール導入やプラットフォーム開発を推進します。  （４）人材の確保に関しては、DX人材の募集を行いつつ、不足分に関しては外部のシステムベンダーと協力し課題を解決していきます。また、育成に関しては、企業や地方公共団体が実施しているDX人材育成プログラムを活用し、人材の育成を推進していきます。 |   　　② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | ①　DXビジョンとその取り組み  　体制・環境 | | 記載内容抜粋 | ①　（１）業務効率化や新規事業創出のためのデジタル関連投資を実施  （２）「業務効率化」および「デジタル活用による新しい収益」についてKPIを設定  （３）IT開発関連事業部において、ITに関する最新の技術動向に関する調査・研究を実施 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | ①　DXビジョンとその取り組み | | 公表日 | ①　2021年 9月 7日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | ①　コーポレートサイト  　https://www.urban-like.co.jp/news/2021/09/07/dx%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%a8%e3%81%9d%e3%81%ae%e5%8f%96%e3%82%8a%e7%b5%84%e3%81%bf/  　目指す指標 | | 記載内容抜粋 | ①　（１）従業員生産性  2023年度目標：2021年度比で10%以上の向上  （２）プラットフォームの新規構築と改善による、web集客数の向上  2023年度目標：2021年比で30%以上の向上  （３）生産性向上・研究開発投資におけるデジタル関連投資  2023年度目標：2021年度比で20%以上の増額投資 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | ①　2021年12月 3日 | | 発信方法 | ①　アーバンライクが考えるDX  　コーポレートサイト  　https://www.urban-like.co.jp/news/2021/12/03/%e3%82%a2%e3%83%bc%e3%83%90%e3%83%b3%e3%83%a9%e3%82%a4%e3%82%af%e3%81%8c%e8%80%83%e3%81%88%e3%82%8bdx/  　アーバンライクが考えるDX | | 発信内容 | ①　デジタル化が進む中で、様々な業界でDXの必要性が高まっています。私たちが営む不動産・建設業界も例外ではありません。お客様がより豊かな生活を送っていただけるよう、私たちも常に変革し続ける必要があります。  DXにおける企業変革を考える上で、当社は2つの方針を掲げました。  1つは、デジタル活用による業務効率化です。「働き方改革」が世の中で求められていますが、その本質は「労働時間の削減」ではなく「従業員生産性の向上」にあると考えています。SaaSなどを業務に取り込み、既存事業の効率化を実現することによって、従業員がより働きやすい環境を整えていきます。  もう1つは、プラットフォーム構築による新しいビジネスモデルの創出です。当社を取り巻く環境は急速に変化しており、既存事業に囚われない新しい事業の創出が重要になっています。当社はデジタルを活用した新たなプラットフォームを整備することにより、ライフスタイル及びワークスタイルの変化に対応して参ります。    株式会社アーバンライク  代表取締役社長　吉野悟 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2025年 10月頃　～　継続実施中 | | 実施内容 | 「DX推進指標」を用いて課題把握を実施している。本申請の際に「DX推進指標」の自己診断フォーマットを添付する。 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2025年 10月頃　～　継続実施中 | | 実施内容 | 情報セキュリティ管理規定を見直し、2025/10/21に新たに策定いたしました。今後、社内で当規定を遵守し、適切に運用されているか監査を行ってまいります。  【取組中のサイバーセキュリティ対策】  ・情報セキュリティ委員会の開催  ・情報セキュリティインシデント発生時の運用フロー構築  ・情報セキュリティ教育  ・権限に対応したアクセス制御  ・アンチマルウェアシステムの導入  ・PC操作ログ取得による内部不正対策  ・定期的データバックアップ  上記以外のセキュリティ対策につきましては、規定に基づき、順次対応を進めてまいります。 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１７（第４２条関係）（第四面及び第五面）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 情報処理の促進に関する法律施行規則第４１条第２号の基準による認定の更新を受けようとする場合は、以下についても記載すること。  　(1) データ連携システムの運用及び管理に関する説明   |  |  | | --- | --- | | データ連携システムの目的、概要に関する説明 |  | | データ連携システムの運用及び管理を開始した日 | 年　　月　　日 | | ガイドラインその他の機構が定める文書等の名称 |  | | 開発、運用及び管理を共同で行うことが合理的であることの説明 |  | | データ連携システムにおいてデータ流通機能及び連携サービス機能を有することの説明 |  |   (2) 利用者に対するデータの管理に関する事項の開示   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(3) データ連携システムの安全性及び信頼性の確保のために必要な措置の継続的な実施   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(4) データ連携システムに接続する情報処理システムの安全性及び信頼性を確保されていることを確認するために必要な措置の継続的な実施   |  |  | | --- | --- | | 文書等の名称 |  | | 記載箇所・ページ |  | | 実施内容 |  |   　(5) 他のデータ連携システムとの相互の連携を確保するためにデータ連携システムが準拠する基準の公表   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 |  | | 準拠する基準に対してデータ連携システムで機能を整備していることの説明 |  |   　(6) データ連携システムに係る事業の実施に必要な経営の安定性及び経営資源の確保   |  |  | | --- | --- | | 経営の安定性の確保に関する説明 |  | | 経営資源の確保に関する説明 |  |   （注）(1)～(6)の取組においては、必要に応じて実施内容を補足説明するための書類を添付するものとする。 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１７（第４２条関係）（第六面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定更新申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「住所」欄は、一般事業主が法人の場合にあっては、主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請を行う類型について、該当するものの番号を○で囲むこと。

５．申請内容は正しく記載すること。認定更新後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。